

のうきよう

ちんべつ

8  
No.152







今市市農協渡辺氏牛舎

理事 山本 雪信

# を視察して Part 1

価格は、キロ二、〇〇〇円強で、根室よりも若干安い程度でした。仕上りは十八ヶ月、七〇〇kgで、中規格が六割、他は並ということでありました。粗飼料は稲ワラで、自家産だけでは足りず近辺の水田農家より分けてもらい、堆肥を還元し粗飼料を確保しているということです。濃厚飼料については一搬肥育用のものを使っておりましたが、麦については肥育期間が長くなるという理由で給与していませんでした。渡辺農場では、牝の肥育も少し行っておりましたが、牝に比べ肉色が悪いということです。これは発情等のストレスからくるものではないかという事



今市市農協の組合員、狐塚氏

●栃木県今市市農業協同組合  
 ここでは、渡辺、狐塚の二農場を視察しました。共に今市農協の組合員で、両農場共水田約四haを耕

作し、二〇〇頭余りのホルツの肥育をしている大形農家です。素牛については、四十五日間哺育したものを酪農協から、十日間哺育したものを酪農家から導入している。導入

牛乳の生産調整が始り、生産枠が決められている今日、農業生産で経済性を追求すると酪農に於いては、乳肉複合経営というものが指導機関から打出されて参りました。

た。もともと「肉」というものは酪農の産物の中のひとつではありましたが、牛乳が頭打ちになって来ると、今迄以上に「肉」というものを再認識し、牛乳と肉の二本柱

で農業経営を行なおうと言うものです。当農協では、肉牛センターも運営しており、組合員の中でも、肉牛組合が組織されていますが、一般酪農家への普及という段階迄

は致っていないのが現状です。又、今年から、黒毛和種の交雑種生産も始めたこともあり、府県の肉牛実情を視察してまいりましたので御報告致します。





栃木県酪連哺育センター、集団カーフハッチ

です。又、狐塚さんは、肉牛経営について、鶏や豚の消費が減って牛肉の消費が伸びて来てるので、ホルの肥育は将来性もあるのではないかと、言うことでした。

● 栃木県酪連哺育センター  
 1 ここは集団哺育センターで、カーフ・ハッチの施設は他に例を見ない程の規模です。関東では、「四十五哺育」という言

昭和62年度 **理 事 研 修**

# 先進地の肉用牛



葉が定着しているようので生後十日の仔牛を四十五日間ここではカーフハッチを利用して哺育をしておられます。生後十日目の仔牛を酪農家から導入する際は、健康には気を使っており、特に初乳を充分飲んでいのかどうか、グロブリン検査を行っている程の気の使い用でありました。

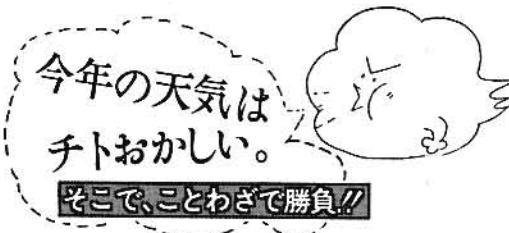
写真でも判るように、ハッチの数は二五〇棟で、従業員以外立入禁止で、当然我々も哺育ハッチ施設の中は見学出来なかった、又、牛の入替の際はハッチの内側の汚物を削り落し、薬剤消毒し、石炭を塗布、地面は火焰放射器で滅菌をするといった念の入れ方でした。このセンターでの仕上りは、約二四〇kgで、肥育素牛として経済連へ出荷し、そこから肥育農家へ販売されるという流通経路になっております。

又、ここで一般酪農家からの預託も行っており、好評であるということでした。



栃木県酪連哺育センター、ハッチを消毒する従業員

今年、天気が本当にバツとしません。異常気象だと言ってしまうほど、それで終りでしょうがこれ程悪候が続くと農作業もはかどらず大変だと思えます。天気が悪いとつい空を見上げる回数が増えて来るものですが、昔から天気のことわざがたくさんあり、意外に当たったりするものです。まあ何日も先の天気がわかるわけではないのですが一日前ぐらいであれば当たる確率も高いものです。



■ 営農技術 ■ 北根室地区農業改良普及所

乳成分のアップは個体能力に応じた飼養管理で

放牧主体の飼養管理において、急激に牧草生産力が低下する八月以降は、放牧による栄養摂取量は次第に減少し、それも牧区や滞牧日数によって異なり非常に不規則となつてきます。これによって乳成分を維持しつつ泌乳を持続させるためにはそれ相応の技術が必要とされてきます。その方策として、各個体の能力を確実に把握し、その能力に応じた飼料給与量、給与体系へ改善していくことが重要となつてくるでしょう。

図1には全乳期にわたって栄養(TDN・CP)が充足されている場合の泌乳曲線を示してあります。どの乳量レベルにおいても最高乳期には分晩後50〜60日に到達していません。したがって、この時期

お月さまが かさをかぶれば	{ 雨 天気下り坂 天気くずれる
朝焼けは	{ 雨 天気が長もちしない 天気が悪くなる
夕焼けは(翌日)	{ 晴れ 天気になる
雲が西へ ゆく	{ 雨 天気悪くなる
東へゆけば 気よくなる	
〇〇山に雲がかかると	風が吹く
〇〇山 かかさをかぶると	{ に雲がかかると 雨が降る
朝(西)虹は	{ 雨 天気が変わる(悪化) その日の洪水 川越すな
あかざれ ひび	{ か痛むは(翌日)(大)風の吹く 兆し
太陽かかさ をかぶれば	{ 雨 天気悪くなる 天気が長続きしない
夜あがり雨 (宵ばれ)は	{ 三日ともたない またすぐくずれる
夕(東)虹は	{ 晴れ、天気良くなる 百日の日照り
(朝)霧ふかきときは	晴れの兆し

8月から10月の3か月予報  
北海道地方季節予報 札幌管区気象台発表

この気間、気温の変動が大きいです。八月と九月は天気が変わりやすいでしょう。日本に影響する台風は平年並(二〜三個)でしょう。

(1)月別予報

〈八月〉

暑い日もありますが、天気は変わりやすく、局地的に大雨の降る恐れがあります。平均気温はやや低く、降水量は平年並ですが、太平洋側ではやや多いでしょう。

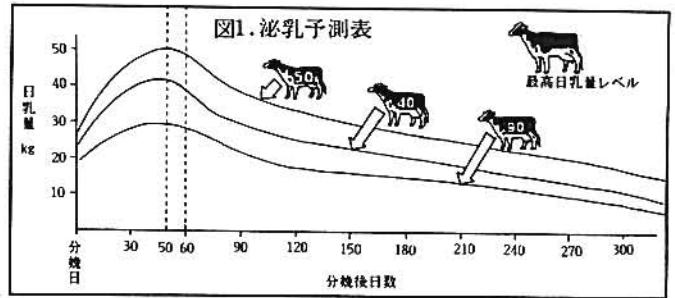
〈九月〉

天気は安定せず、変わりやすい見込みです。平均気温、降水量とも平年並でしょう。

〈十月〉

天気は周期的に変わりますが、冷え込みの強い日が多いでしょう。平均気温、降水量とも平年並でしょう。

いと いえます。また、九kg以上の配合飼料は、ル一メン内の安定を考え三回以上に分給することが必要ですが、放牧主体の管理形態においての三回以上の給与は時間的にも労力的にも困難な場合がでてくるでしょう。以上のようなことを考えると、放牧草からの栄養供給量が期待できないのなら、



放牧を制限するか、可能であるならサイレージ主体の給与形態に切換えるべきでしょう。0日乳量四十kgを越える場合になると放牧主体では栄養の充足さえも非常に難しくなっています。サイレージ主体の飼養管理においても体重の四%以上の乾物を摂取させるのは、実際は不可能な場合が殆どです。今後、こういった高泌乳能力をもった牛を飼養していくには、乾物摂取可能量をより高めていく育成技術も要求されてくるとともに、同量の粗飼料でも、より多くの栄養を供給できるよう良質粗飼量の生産技術まで要求されてきます。

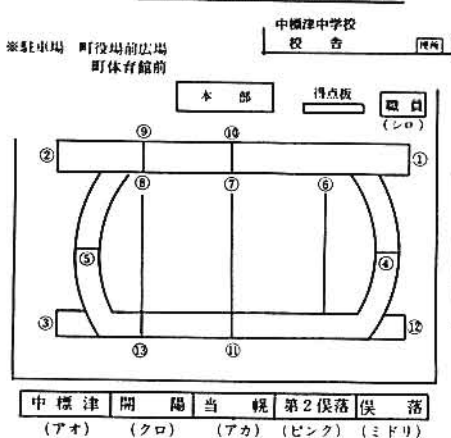
高泌乳を維持し、更に乳成分までも向上させることは、その能力が向上するに従ってより高度な技術が要求されます。乳成分の向上が避けて通れぬ改善目標である今日、個体の能力を今一度把握して見ることが重要といえるでしょう。

表1. 日乳量30.40kgに対する飼料給与例

乳量 kg	30			40		
	A	B	C	A	B	C
飼養形態タイプ						
放牧	3時間以上	1時間以内	—	3時間以上	1時間以内	—
乾草	3.0kg	4.0	4.0	3.0	4.0	4.0
グラスサイレージ	—	10.0	30.0	—	10.0	30.0
ビートパルプ	1.0kg	4.0	3.0	4.0	5.0	4.0
配合	CP16:1.0kg	CP18:8.5	CP18:8.5	CP18:12	CP20:12	CP18:12
その他	—	—	—	—	—	n-タンPlkg
乾物/体重%	3.4	3.5	3.7	4.1	4.1	4.5
充足率%	TDN	104	105	104	103	106
	CP	100	98	100	99	101
粗繊維率%	16.9	18.7	20.4	16.4	17.0	18.7

(体重600kg、乳脂率40%を基準とし、放牧草の栄養価は再生草として計算しています。)

農民運動会 会場見取図



組合員の交流と家族ぐるみの親睦を深め、協同活動の意識を高める事を目的に今年も次の通り実施します。楽しい運動会になるよう家族皆参加下さい。

開催日時  
● 八月十八日(火) ● 午前九時半開会  
(雨天の場合八月十九日)

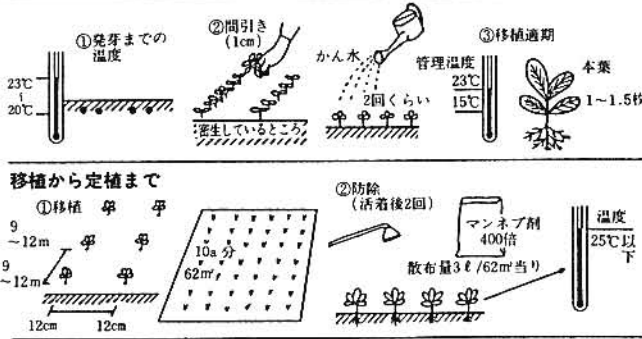
開催場所  
● 中標津中学校グラウンド

尚、当日の人工授精の受付は九時迄に済まして下さい。





●定植までの管理、第二図。  
●施肥||ビート化成かきも化成5kg/十坪当り施用して、分施は、第一回



一、キャベツ  
●品種||金系二〇二号(八十五日)、グリーンボール(八十日)、デリシャス(八十五日)  
●育苗||無病床土を使い、根こぶ病多い土壤ではペントゲン散布する。

●栽培上の注意として、肥料は、苦土、ほう素入り使用し、

②黒斑病、ダコニール六〇〇倍散布する。  
③ヨトウガ、アオムシはオルトラン、ダイアテレックス使用。

## 生活講座 56 秋野菜の作り方

北根室地区農業改良普及所

目は十枚頃と結球始め頃、硫安四〇〇g/十坪当り、硫加一六五g/十坪当り  
●管理||中耕、土寄せは結球初期まで終らす。  
●病害虫防除  
①根こぶ病は三年以上輪作、ペントゲン粉剤(二

炭カルか苦土石灰を施用する。二、はくさい  
●品種||仲秋(八十五日)オリンピア(九十五日)無双(八十三日)  
●育苗||育苗床土は無病床土を使い育苗箱か育苗ポットで行いましょう。  
●定植までの管理  
●施肥||ビート化成かきも化成5kg/十坪当り、特に石灰、ほう素欠乏に注意して下さい。  
分施は、第一回目は本葉十五枚、第二回目、結球始めに硫安、八〇〇g/十坪当り、硫加で三三〇g/十坪当り施用する。

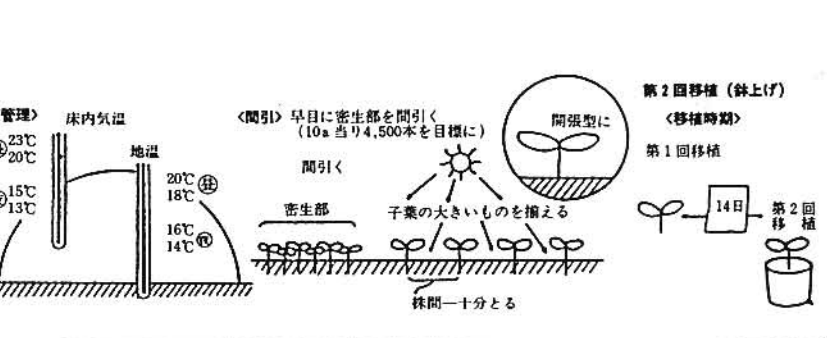
①軟腐病はストレプトマイシンとダイアテレックスを交互に防除しよう。  
②白斑病、ダコニール  
③根こぶ病、PCNB粉剤一株当り10g散布。  
④害虫は、オルトランディアテレックス乳剤を散布しよう。

●病害虫防除  
①軟腐病はストレプトマイシンとダイアテレックスを交互に防除しよう。  
②白斑病、ダコニール  
③根こぶ病、PCNB粉剤一株当り10g散布。  
④害虫は、オルトランディアテレックス乳剤を散布しよう。

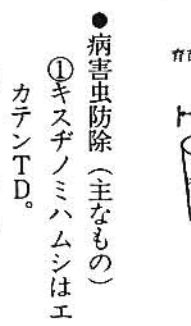
●品種||耐病総太り、耐病宮重、宮重総太り。  
●施肥||ビート化成か、いも化成四kg/十坪当り全面散布、特にほう素、苦土入り肥料使う。

三、だいこん  
●品種||耐病総太り、耐病宮重、宮重総太り。  
●施肥||ビート化成か、いも化成四kg/十坪当り全面散布、特にほう素、苦土入り肥料使う。

●病害虫防除(主なもの)  
①キスチノミハムシはエカテンTD。  
②ダイコンバエ、ビニフエト粉剤、ダイアジン粉などを播溝施用する。



●病害虫防除(主なもの)  
①キスチノミハムシはエカテンTD。  
②ダイコンバエ、ビニフエト粉剤、ダイアジン粉などを播溝施用する。



●病害虫防除(主なもの)  
①キスチノミハムシはエカテンTD。  
②ダイコンバエ、ビニフエト粉剤、ダイアジン粉などを播溝施用する。

共計でん粉情報

でん粉市況は、産地倉渡しで、三、六二五円(三、九〇〇円)一三、七五〇円(四、〇七五円)、東京倉渡しでは、三、九二五円(四、一五〇円)一三、九七五円(四、二七五円)と依然として低迷を続けています。

(一)内は昨年の価格

共計でん粉進捗率

60年産		61年産	
共計	210,000袋	共計	236,000袋
6月1日	337円	6月1日	261円
累計	2,870円	累計	2,221円
販売進捗	92.4%	販売進捗	71.7%

で、防除を徹底すること。一搬圃でもウイルス病が見られた。採種で、生育のバラつきが見られ全般的に多肥栽培の傾向が見られた。一部の圃場で、塊茎単位になっている所と、なっていない所が見られた。センチエーは、発見されませんでした。今後、疫病、アブラ虫、軟腐病の防除には、細心の注意をはらい、抜き取りを、実施すること。第三期検査(八月十二日)に向けて、なお一層の徹底管理をお願いします。



本年度の種子馬しよ第二期防疫検査が、去る七月二十一日、直江防疫官により関係者立会のもとに実施されました。原種三筆採種十五筆(太陽農場一筆含む)の抽出により検査が行なわれ、全筆合格致しました。しかし、一部の圃場で、葉巻、レン葉等が、発見され抜き取りが、不十分であることを指摘されました。防疫官の講評は次のとおり、採取圃の近かくの、一搬圃も、今後アブラ虫の多発時期をむかえるの

昭和62年度 根室生産連家畜市場価格 (6/24.7/1.7/8.7/15.7/22)

「売り易く買い易い」をモットーに、毎回多数の家畜が出場しています。

種別	区分	上場数	成立数	価格			
				売買金額	平均	最高	最低
乳	育成 (12ヶ月以下)	18	15	2,888	193	233	92
	育成 (12ヶ月以上)	17	14	3,925	280	350	220
牛	初妊牛	43	35	13,290	380	476	240
	経産牛	49	39	15,039	386	461	278
	小計	127	103	35,142	341	476	92
肉	初生トク	27	24	2,536	106	168	40
	牡トク	65	61	9,812	161	240	21
	去勢 (12ヶ月以下)	111	102	22,898	224	269	175
	去勢肥育 (12ヶ月以上)	—	—	—	—	—	—
	育成牛	154	125	32,244	260	417	42
	未經産肥育牛	—	—	—	—	—	—
牛	成牛	298	263	71,772	273	450	143
	小計	655	575	139,262	242	450	21
	その他 (馬・羊他)	—	—	—	—	—	—
生産連市場計		782	678	174,404	257	476	21

◎場所 中標津町南中  
◎定期市場 毎週水曜日  
◎セリ開始 午前十時



東北地方は、本来、馬産地で山間部も多く、水稲の単作地帯で、減反や所得の補充に畜産を取り入れ、地味な経営を行なっています。山間部では、本当に御苦労さん、という感じですが。

金ヶ崎農協では、昭和四十二年に国営パイロット事業がスタート、大型酪農の基盤ができ、哺育肥育、養豚の各センターを運営、黒毛和種一、七〇〇頭（肥育一、〇〇〇頭）、乳オス一、八〇〇頭、乳用牛三、六〇〇頭（一〇〇戸）、養豚四、五〇〇頭を飼育し、各専門部会を設け、活動しております。政策導入による経営が多く、借入金残もあり、個人別に技術指導と経営指導の二課で対応しています。

前沢町農協では、西の松坂牛と東の前沢牛といわれる様に肥育技術が高、肉質が優秀で前沢牛

の銘柄は、全国的に高い評価を受けている。

以前から資質の良い素牛産地（陸中牛）であり、良質米生産のため、推厩肥確保に稲ワラ、畔の草等、恵まれた資源の有効利用と労力の周年活用出来る事で、三十六年から肥育が始まった。

組織的に効率良く主産地形成を計るために、昭和四十年から専門部会（改良肥育）七支部（一六二名）を作り、上質肉の生産と稲作との収益性の高い複合経営をしています。（農家収入の四〇％を肉牛がしめている）

○主な対応策

- ①銘柄生産地形成の推進力として上質肉の安定生産と市場評価確立のため、東京の市場へ昭和四十六年から出荷、職員を配置して出荷後の格付価格の情報をすみやかに送り部会で検討し対策を立てている。
- ②肥育技術向上のため、飼料給与等高位平準化、定着させ粗飼料（稲ワラ）を確保し、牛舎内を乾燥状態に保つ等の

昭和62年度 **理事研修** 理事 竹下 日吉

# 地の肉用牛を視察して Part 2

乳価値下げと生産量削減の中で農家経営の維持を狙い、乳牛複合経営に足掛かりをつけるための研修として、6月15、16日、岩手県金ヶ崎農協と前沢町農協、そして川崎町雪印肉牛肥育実験農場の三ヶ所を選定しました。

細かい管理につとめる。枝肉共励会等の研修を行なう。

③肥育素牛の選定には、情報を基に改良組合（素牛生産者）との話し合いで、基礎繁殖牛の導入（島根、岡山県から）、種牛の選定は、検定協会との話し合いで決める。六十五％は、自家産で残りは市場から購入。

④収益性の高い経営実践のため、河川敷、転作田の利用と堆肥、稲ワラ交換等を行ない低コストで抜群の上物率（八十％）を実現。

このように、高枝肉単価等により、水稲十肉牛等の経営を安定させている。（導入費一五〇万円、六十一年は、六十一万円）

○以上のことから。

①上質肉生産には良い素牛を確保する事（血統種牛の選定がむずかしい）

②上質肉には稲ワラが無くてはならない事（二年物）水田地帯である。

③主産地形成をする事（産地銘柄）

中		並		計		比		率	
						上	物	ト	ビ
枝	単 価	頭	枝	単 価	頭	枝	単 価		
362	1,838	22	369	1,447	673		2,213	67.6%	30.3%
378	1,884	19	360	1,508	646	383	2,293	70.4	36.0
348	1,919	26	348	1,552	466	342	2,465	73.3	42.9
385	1,924	7	369	1,685	788	392	2,462	80.8	46.8



前沢牛枝肉共進会成績 (於・東京食肉市場)

年月日	頭	平均枝重	平均単価	最高単価	平均販売高	格付内訳				比率	
						◎	○	1	2	上物	トビ物
57・11・4	28	389	2,725	4,300	1,053,916	9	6	8	5	82.1	53.5
58・11・7	28	402	2,762	4,710	1,103,174	11	7	7	3	89.3	64.2
59・11・12	28	409	2,752	4,060	1,120,009	9	7	10	2	92.9	57.1
60・11・11	28	412	3,168	4,649	1,303,957	15	9	4		100.0	85.7
61・11・10	28	419	3,146	4,141	1,317,766	20	5	3		100.0	89.2

④肥育技術が高位平準化するようによりグループ、専門部会で実践活動を行なう。

⑤労働が集約形である事。(細かい管理―少頭数舎飼)

⑥仕上迄の日数がかかる。(サシを入れるため三〇ヶ月以上かかる資本が必要)

⑦安い飼料で必要な種類を買い入れることができる。(飼料代四〇%以上)

⑧中央市場直結である事。(市場の評価) 流通販売に地理的に有利(栃木県の牛は、一〇〇円高い)

今迄言われていた事がすべて実践され、初めて品質の高い上質肉の生産により、収益性の高い経営が出来る事がわかりました。

消費者に上質肉(霜降<sup>しやが</sup>)指向と大衆(赤肉)指向とがあり前者は、和牛上物肉で肥育には、月数がかかり過ぎ、(増体量一日〇・八kg肥育期間三十―三十五日)生産性が悪く素牛も不足しています。

一方、乳雄は増体量とメリットを生かし(一日一・一)

# 先進



一・二kg)若令(十八ヶ月)、経済肥育として安価に生産することが出来る。

消費の増加はあるものの、(年三%)、輸入牛肉との競合はさげられず一層のコストダウンが必要であり、両者の中間をねらった和牛+乳牛の交雑種、F<sub>1</sub>、F<sub>2</sub>の生産によって和牛の素牛不足と増体量不足、肉牛向上のメリットを生かした経済的な上質肉の肥育が考えられる。

また、低コスト、多頭化生

産には、乳牛多頭飼育地帯のメリットを生かし、管理経済面から交雑種の早熟性と自然分娩が容易で早期受精や放牧地での自然交配等、各々の経営に合せて考える事もできます。

広大な草地面積と乳牛多頭飼育の草地酪農地帯では、そのメリットを生かす事が大切だと思われれます。当地での肥育仕上げは難しく、経済的に無理かもしれませんが良質素牛の主産地を作り、全国の銘柄地域へ出荷を考える必要があります。草資源の活用と(夏期放牧)、多頭飼育乳牛群と全頭飼育淘汰牛の更新率を高める事は育成牛を大事にし、低コストの管理体系を確立できる事が必要であると考えます。この事が乳肉複合経営の基礎となり、その後、生産経営条件に合せて、市況を考えながら取り入れて行く事が必要かと思われれます。

以上、私見を交えて述べましたが出来る事から実行してみたいと思います。

東京出荷別格付別推移 (去) (1月~12月)

年度	特選			極上			上			頭
	頭	枝	単価	頭	枝	単価	頭	枝	単価	
59	81	408	3,040	123	383	2,530	251	376	2,209	196
60	101	301	3,042	132	391	2,577	222	382	2,214	172
61 牝去	106	347	3,388	94	337	2,628	142	345	2,273	95
	177	397	3,099	192	410	2,619	268	389	2,239	144

六月二十一日、ウエディン  
グプラザ寿宴にて二人の結婚  
祝賀会が催され、多勢の人に  
祝福されました。(見玉光彦  
様御夫妻様)

銀行勤めで牛にふれた事の  
なかった百合さんも、今では  
本当にやさしい正一君と二諸  
に、牛舎で仕事をしています。  
「イヤ、この間なんか牛  
舎で仕事をしていたら、何か  
ブツブツ言ってるんでどうし  
たのかな?」と思ったら、牛を  
横目で見ながら、この牛にき

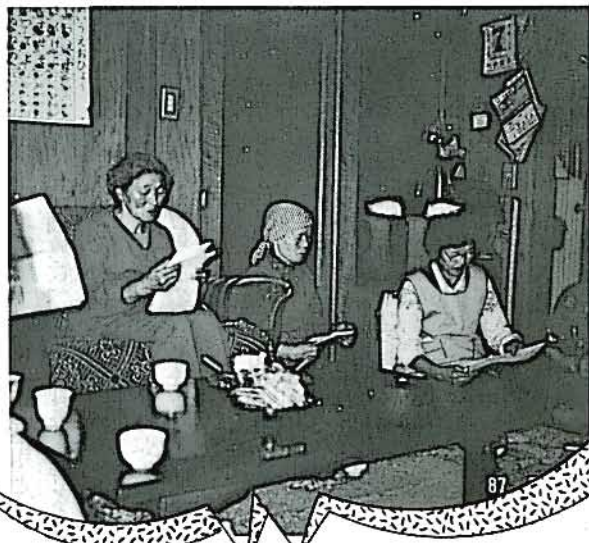


高橋 正一君  
百合さん

らわれたり。なんていって  
んだよね」と目を細めてウ  
レシソウに話す正一君、若い  
二人に当てられればなでした。



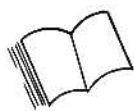
### 農協婦人部主催 現地野菜栽培講習会



農協婦人部活動の一環とし  
て今年も現地野菜栽培講習会  
が七月六、七日の両日、中標  
津地区をはじめ四地区で開催  
されました。

普及所の市丸次長、榎田生  
改さんを講師に実施されたこ  
の講習会は、今年で三年目と  
なり、婦人部活動の定着した  
活動の一つとなっています。

参加者達はハウス野菜の管  
理、病害虫の防除、農薬や展  
着剤の正しい使い方の指導を  
熱心に受けていました。



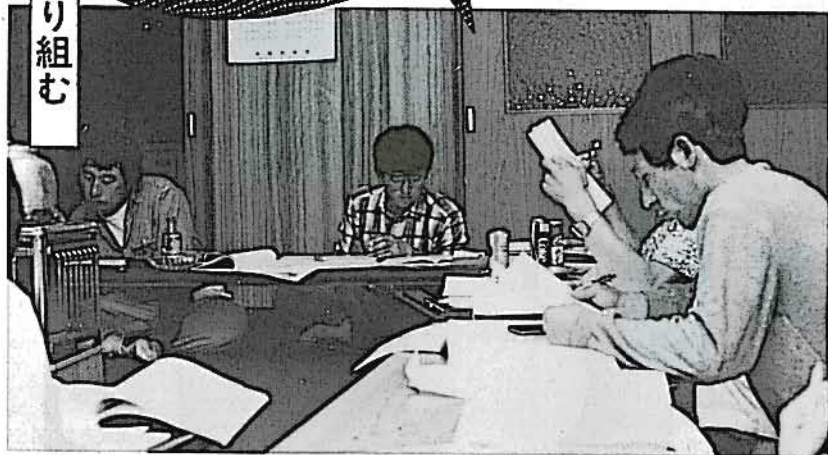
#### 本の紹介 振り返れば 地平線

棧橋を降り、ゆつくりとバ  
イクを進める。この空気だ!!  
この空気を裂いて走るため  
ボクたちは北海道に来了。  
六年前のバイク仲間の合言葉  
「開陽台で満月を見よう!!」  
その約束を覚えていた慎平  
と二人で、スロットルを全開  
にする。マシンのリズム、ピ  
タッと合った軽い空気……。  
(集英社文庫 佐々木譲著)





**電算簿記に取り組む**



中標津地区の若者十名程が中央会中標津支所の西埜・株田両氏の指導で、いま電算簿記に取り組んでいる。

これは、組織運動したもので、一般の複式簿記と比べてわずらわしい作業をコンピュータがやってくれるという

ものだが、ただ現金出納部分のOCRカードに書き込んで報告するだけです。

現在、開始仕訳元帳の入力段階ですが、非常に簡単、だれにでも取り組めるものなので、ぜひほかの人達も取り組んでいただきたいと思えます。

**第八回** **しゃがいも白爵まつり** **開催日程**



**夏期酪農実習生**



今年も各校から中標津町へ夏期酪農実習へ入りました。

トップは、地元中標津町立農業高校生二十七名、その後、兵庫県立永上高校生四十八名、長崎県立西彼農業高校生七名、日本大学農獣医学部八十名が農協大会議室にて受入式を行なった。皆、不安な面持ちではありましたが、迎えに来た受入れ農家の方と一語に実習へ向いました。七月始めから不安定な天候が続き、きつい仕事だと考えて気がまえをして来たでしょうが、拍子ぬけている人も多いと思います。天候が良くなれば、仕事も大変になると思います。健康やケガ等、十分注意して頑張ってほしいものです。また、実習生の受入農家の方には、多大なご協力を戴きお礼申し上げます。

農協青年部では「第八回しゃがいも白爵まつり」を九月六日(日)に東武佐、青年部畑作部会試験圃場で開催します。この催も地域の方々に親しまれるようになり、家族連れもたくさんこられます。また今年も武佐岳のふもとで土に親しみ、自然を満喫していただきたいものです。

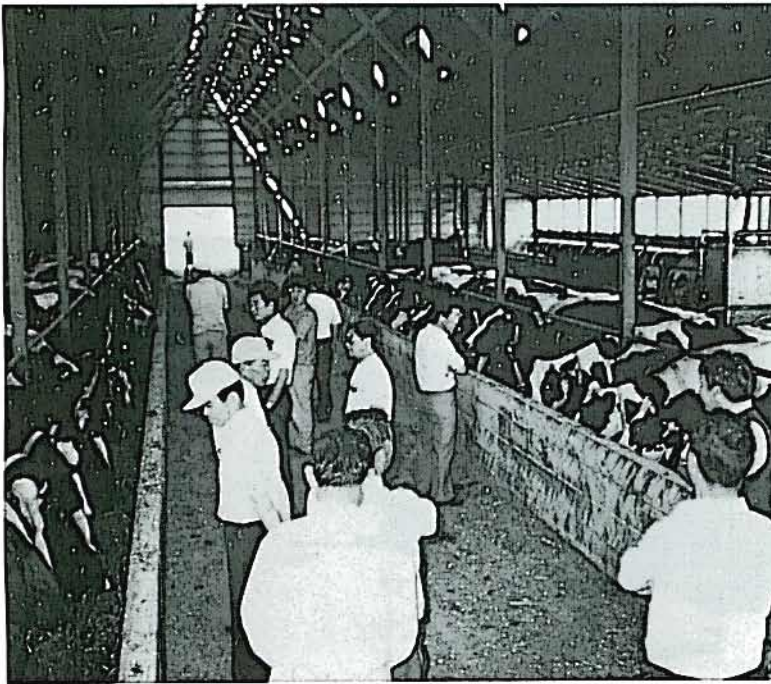


# 道央地域の

横田 国雄

## 肉牛生産の研修を終えて

この度、肉牛組合として毎年行っている管外研修を早めて実施しましたので、簡単に報告したいと思います。

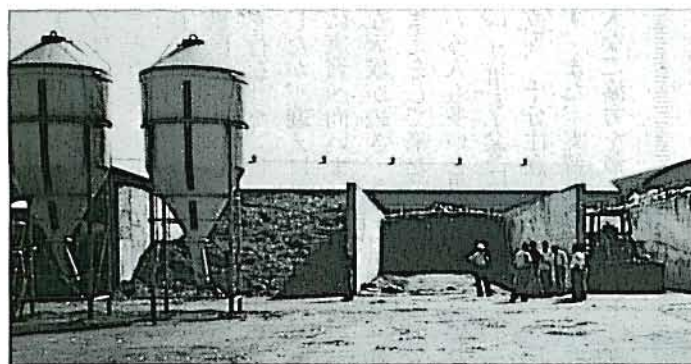


今回の目的は、近年益々厳しくなる酪農情勢の中にあつて、今年度より、農業事業として肉牛生産（F<sub>1</sub>）に、本格的に取組むこととなり、いろいろと推進方策を検討し、実施されてい

る中で当肉牛組合も、農協事業に協力と組合員の技術研鑽を兼ねて実施の運びとなり、総勢十八名で六月二四日～二七日までの二泊三日の行程とし、天気が良過ぎて、この天気の良いのに、何が研修だと云われるのを覚悟の上での勉強であり、貴重な時間と費用もかかる事を考えると、内容の充実した中味の濃い研修内容にすべく、研修先も十分に調査し、参加者全員が満足して戴ける様、努力しました。お陰様で事務局及び、関係機関の取り計らいにより、有意義な視察であり、余韻が

脳裏に残る様な研修が出来ました。まず視察先は、江別の篠田畜産（根室生産連の大口購買者）、追分町の苦楽園亀田牧場、早来町植苗の雪印乳業受精卵移植研究所の三ヶ所を選びました。まず篠田畜産では生後八ヶ月の交雑種（黒毛和種×ホル）、アンカース、ヘレーホード、日本短かく種、ジャージ等の交雑種を見る事が出来ました。

その中で特に目を引いたのが黒毛和種とホルとのF<sub>1</sub>の肥育後期牛で、F<sub>1</sub>の特徴を充分そなえており、一日のDG（増体量）も1kg以上と乳雄と同等のDGを示し、肉質も専用種と乳雄の中間値は充分ねらえ得る事、又出荷月令も二十三～四ヶ月で出荷可能であり、充分期待がもてる様に見受けられました。



バンガーサイロで低コスト化（亀田牧場で）

土地二二〇ha、内小麦三六ha、デントコーン三五ha、牧草五〇ha、乳用牛総頭数五八〇頭、黒毛和種二三〇頭、乳雄肥育牛二〇〇頭、F<sub>1</sub>五〇頭、総頭数一、〇六〇頭、年間搾乳量一、五〇〇トン（札酪組合員）一頭当り約八、〇〇〇kgで農業総収益は何億かはつきり経営主からは聞く事が出来ませんでした。相像がつくと思

います。



特記したい事は受精卵移植による専用種のE.T作りを目標にすでに、島根県や岩手県から優良種乳牛の導入を計り現在、供卵牛を二十五頭導入し、受精卵移植によるE.Tの増頭を、着々と準備、進めてる様に見えました。詳細については一方通行のためにわかりませんが、八十六才になる牧場主のあの経営感覚と、実業家としての自信が、話の中に随所に見られ深い感銘を受けました。特にE.Tによる系統造成が肉牛経営においては最重要にあげ、乳牛の場合は環境が四〇%位の影響が出るが、肉牛の場合は、それが乳牛種で出ないために、種雄牛の選定が重要と話されておりました。又、老爺が目をかがやかせてE.Tによる肉牛生産をかたり、特選とか極上とか、一頭一〇〇万以上の牛を作り出す事を夢みながら説明してくれました。牧場主の亀田のおじいちゃん、その日も私達を心良く迎えてくれ、説明後、町の農業委員会があるので、農場の方は適当に見

て帰りなさいと言って、立ち去ったあの後姿に、五〇や六〇才は若造りであり青二才で……ただただ敬服するばかりでした。次に雪印乳業の受精卵移植研究所ですが、中標津工場より転勤した先生ばかりで、皆顔なじみで我が町に帰った様な気分にはなれました。

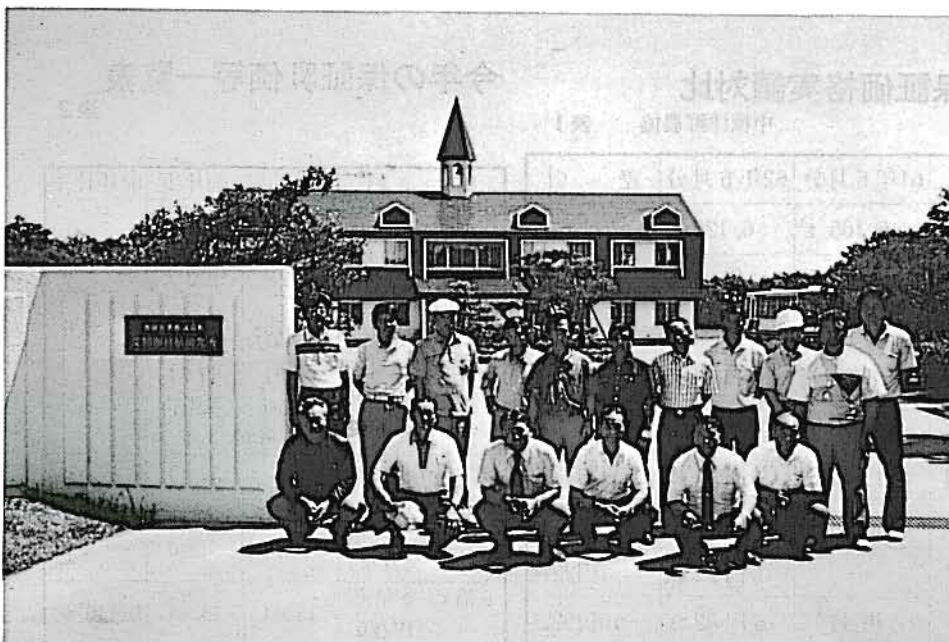
そこで一時間三〇分程講義を受け、実験施設を見せて戴きました。当研究所ではホルスタインの場合は、営業ベースに乗っておりませんが、肉牛の場合は、受精卵移植による双子生産の確率はまだ十六頭で、今後の研究成果に期待をかけておりました。先日農業新聞にも、農水省中国農試畜産部で、和牛の双子生産に「めど」と元う記事がのつていました。雪印でも時間の問題の様に思われました。この三日間の研修で学び得た知識を、我が家の経営にどの様に生かすか、各自の問題になります。乳を搾りながらE.Tによる優良専用種の生産が可能になれば、我国の肉牛生産に大きなはずみとなり素牛

供給の不足を解決し、低コスト生産達成が可能になる様に思えてなりません。以上で、今回の研修内容の報告を終わりますが、益々酪農情勢が厳しくなっていく中で、肉牛生産に関する農協の取組、又、体制作り、農協事業の中などの様に位置付けをし、活性化を計っていくのか、農協運営者の大きな課題と思われ

とあります。以上、研修報告と農協への注文のかたちになりましたが、少しでも皆様の参考になればと考えます。ご参考になればと考えます。

ます。幸い当農協は肉牛生産センターを有し、今年度よりF1生産に取組むべく実施検討を加えている事は、他地域に先がけての英断であり、生産から消費者までの独自の販売ルート確立、そして産地形成による定時、定量、定質の三大要素の早期実現により、エアークンテナの活用こそが今後のこの奥根室の組合員が生き残れるかどうかの最大の鍵になるのではないのでしょうか。

どうか運営者は組合員の先頭に立ち、生き残り方策を示し、自から農村社会の真の指導者として力を発揮願いたいものです。農民と云えども復



とられた建物の受精卵移植研究所にて





# 保証乳価決定と その後の乳価情勢

三月二十八日、本年度の加工原料乳保証価格が決定した。前年度に比べて表面上の値下がりは一〇円〜一二円近く(約一三%)にまでなるのではないかと試算したものである。原料乳の基準脂肪率が三・二%から三・五%に引き上げられたし(△三円) 昨年は、ついていた良質乳奨励金がとり払われ、(△一円五四銭)さらにナチュラルチーズ向け原料乳が、不足払い法からはずれたため、その価格は大中に下落が予想されるからである。(△二円強)従って、本組合の前年度六月分保証乳価と、本年度の同月を対比すると別表の通りで、生産物価格の低下

は農家経済にとって大変なこととで、その何倍かの影響を農業所得に与えるからである。本年度の乳量の割り当てが前年並みでも、乳代は前年より減収する、何れにしても生産性の向上は急に成果はあがらないし、増産にも限界があるとすれば、このような年には辛抱して、支出を抑えるか、肉畜などの収入を有利に確保することなど、キメ細かな工夫をして、この暴風に倒れないように心がけること以外にない。

他産業も多くは不況、失業、倒産の危機に直面している。酪農は、まだよい方だといわれている。苦しいのは酪農だけではない。酪農は依然として成長産業の資格をもっているのである。今年は、確かにピンチであり逆境の年だが、勝ちぬかなくてはならない。酪農家の皆さんも家族そろって、この難局を乗りこえる決意を新たにして頑張ってもらいたい。

61年/62年6月分

## 加工原料乳保証価格実績対比

中標津町農協 表1

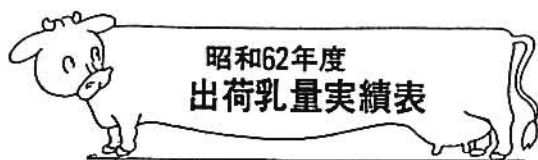
	61年6月分	62年6月分	差引
乳量	6,105 t	6,129 t	24 t
脂肪率	3.64%	3.63%	-0.01%
(全道)	3.63%	3.61%	-0.02%
無脂固型	8.56%	8.46%	-0.10%
(全道)	8.60%	8.57%	-0.03%
乳価(1kg)(A)	75円44銭	67円71銭	-7円73銭
補給金単価(B)	13円00銭	9円49銭	-3円51銭
チーズ向奨励金(C)	—	1円22銭	1円22銭
合計(A+B+C)	88円44銭	78円42銭	-10円02銭

## 今年の保証乳価等一覧表

表2

項目	昭和62年度	前年度	前年比率
1.保証乳価(円/kg)	82.75 (乳脂肪3.5%)	87.57 (乳脂肪3.2%)	-5.5
2.全上手取比較(円/kg)	82.75	90.57	-8.6
3.基準取引価格(円/kg)	67.67 (乳脂肪3.5%)	69.54 (乳脂肪3.2%)	-2.7
4.全上手取比較(円/kg)	67.67	72.54	-6.7
5.限度数量(万/t)	210	230	-8.7
6.補給金単価(円/kg)	15.03	18.03	-16.4





昭和62年度  
出荷乳量実績表

(62.4.1~62.7.31)

	出荷乳量		前年比 (%)	
	61年	62年		
4月	5,090,083.3	5,028,668.9	98.8%	
5月	上旬	1,779,014.4	1,775,905.5	99.8
	中旬	1,809,941.3	1,829,498.9	101.1
	下旬	2,069,377.3	2,077,057.7	100.4
月計	5,658,333.0	5,682,462.1	100.4	
合計	10,748,416.3	10,711,131.0	99.7	
6月	上旬	1,983,668.4	2,012,739.7	101.5
	中旬	2,051,478.9	2,059,960.6	100.4
	下旬	2,069,701.4	2,056,075.6	99.3
月計	6,104,848.7	6,128,775.9	100.4	
累計	16,853,265.0	16,839,906.9	99.9	
7月	上旬	2,039,694.5	2,007,992.8	98.4
	中旬	2,004,336.4	1,954,572.2	97.5
	下旬	2,132,838.6	2,122,656.1	99.5
月計	6,176,869.5	6,085,221.1	98.5	
累計	23,030,134.5	22,925,128.0	99.5	

牛乳処理室を ちよつと拝見!!

牛乳処理室は水が使えて、夏涼しく冬暖かいことから、組合員の皆さんにとって便利なことが多い所です。その便利さゆえに、本来の目的がないがしろにされていなくていいでしょうか。①漬物樽や花の鉢物等が置いてある。②牛の薬品類が放置されている。③配達された書類等が散乱している。④仔牛の餌が置いてある。⑤ハエ、ネズミ、猫が入り込む事がある。⑥冷凍機のファンの前 洗濯物が干されている。⑦換気、排水状態が悪いなど、今一度点検してみましょう。

消費者は常に良質のものを求めています。そして今や乳価は成分、細菌、細胞と諸条件に影響を受けています。洗って食べることで、きかない食品を処理しているという点から環境整備に細心の注意を払っていきましょう。(農家の友八月号より)



理事会の経過

第四回理事会

開催月日 七月六日

開催場所 農協中会議室

議案

- 一、外部出資の取得について。
  - 二、北信連外二〇・八九二千元
  - 二、正組合員の出資金の減口について。
  - 二件、後継者に譲渡
  - 三、固定資産の取得について。
  - 三、固定資産の取得について。
  - 四、農協有バルククーラの機種選定について。
  - 細部については、営農委員会に付託する。
  - 五、自給飼料増産総合対策事業の実施について。
  - 六、団体営草地開発整備事業の変更について。
  - 七、昭和六十二年制度資金追加申込について。
  - 三件、一八、四六〇千円
  - 八、給油所の設置について。
  - 以上の各議案が原案どおり決まりました。
- 〔協議事項〕
- 一、固定資産の監査日定について。
  - 二、第十回農民運動会の開催と日程について。
  - 八月十八日(火)、雨天の場合は十九日に順延、場所は、中標津中学校グラウンド。
  - 三、乳質ベナルティについて。
  - 四、職員給与改定についての回答に対する、職員組合からの要望について。
- 〔報告事項〕
- 一、昭和六十二年度、生乳出荷量及び全乳哺育量の配分について。
  - 二、抗菌性物質汚染生乳事故発生について。
  - 三、昭和六十二年度、乳質向上対策事業について。
  - 四、馬鈴しょ畑実測結果について。
  - 五、ひょうによる被害状況について。
  - 六、人事異動について。
  - 七、長期共済推進実績について。
  - 八、生乳集荷費について。
  - 九、役員研修について。
  - 十、会計検査日程について。
  - 十一、中標津神社祭典の臨時休業について。
  - 十二、バルククーラ農協有について。
  - 十三、配合飼料等について。

## 62年6月乳成分乳代単価ベスト10テン

脂肪4.0%  
以上10戸

順位	脂 肪 率	%	無脂固形分率	%	乳 代 単 価	円
1	大 木 敏 夫	4.22	久 保 栄 興	8.84	佐 藤 一 広	83.24
2	佐 藤 一 広	4.14	白 田 慶 和	8.80	大 木 敏 夫	82.69
3	花 尻 武 夫	4.09	丹 羽 賢 一	8.75	山 本 優 文	82.17
4	小 谷 盛 一	4.08	下 河 原 政 市	8.75	花 尻 武 夫	81.76
5	山 本 優 文	4.05	佐 藤 一 広	8.73	久 保 栄 興	81.43
6	酒 井 清 志	4.01	中 本 ト モ	8.71	保 科 清	81.16
7	武 田 三 郎	4.00	佐 藤 信 義	8.70	武 田 三 郎	81.04
8	五十嵐 輝 夫	3.98	山 本 優 文	8.68	酒 井 清 志	80.98
9	目 黒 雅 隆	3.97	滝 場 慎 二	8.67	佐 藤 信 義	80.81
10	高 平 幸 夫	3.96	佐 藤 拓	8.66	高 平 幸 夫	80.77
"	保 科 清	3.96	篠 永 栄	8.66		
"			保 科 清	8.66		
平均		3.63		8.46		77.20
最低		3.23		8.08		72.39

## 昭和62年度 合乳細菌数、細胞数検査成績 (4月~6月)

昭和62年4月~6月分合乳細菌数、細胞数検査結果は下記の通りです。乳質向上に努力を!!

農協名	細 菌 数						細 胞 数			
	30万以下	31~50	51~100	110~200	210~400	410以上	30万以下	31~50	51~100	110以上
上春別	90.7	6.3	1.7	1.3			32.8	56.2	10.8	0.4
別 海	88.8	6.4	3.2	1.0	0.6		60.6	38.8	0.6	
中春別	87.6	8.7	3.3	0.4			80.4	19.6		
羅 白	87.1	7.7	5.2				67.5	32.5		
計根別	86.0	7.1	5.4	0.5	0.6	0.4	44.7	48.4	6.2	0.7
根 室	83.9	8.9	5.8	1.0	0.4		51.7	44.6	3.7	
標 津	82.6	11.2	4.6	0.3	1.3		61.3	38.6	0.1	
中標津	82.2	10.8	4.5	2.3	0.2		60.9	38.9	0.2	
西春別	81.1	10.9	6.2	1.0	0.4	0.4	53.6	43.5	2.9	
管 内 平 均	85.5	8.6	4.3	1.0	0.5	0.1	57.5	40.0	2.4	0.1



## 7月分細菌・細胞検査成績

氏名	細菌			細胞			氏名	細菌			細胞			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
佐藤忠男							新井範美						39	
藤和男							片野博							
塩田専治					33									
五十嵐輝夫							第二俣落地区							
田中輝繁					39		西村和之							
山本政紀							西垣洋							
安達和永							保科清美					36		
志賀正一							松岡晴							
志賀正						36	田代昭一					36	36	
篠永							井口則一							
							安江孝男							
							安江持広							
俣落地区							安江持広							
原栄一						42	齊藤靖幸							
大木敏夫		56	29				山松幸樹							
小林金司							高峰秀一							
小橋松					39	48	36	沖一美						
岩井昇好							片岡一志					110	93	120
服部一好							彈正原正							
遠藤初子					57	36	39	国光昭行				47	36	36
遠藤正幸						33		藤直雅						
高橋文夫					36			遠藤伯雅						
松村晴	45				36			来栖寛						
小山村茂春								川村清身					51	
本村正	34	66						加藤繁七						
菅原弘志								萩原蝶昇						
上村重光								星本広					36	
上村力								滝本義明					33	
松本正通	36				39	60		滝ヶ平義栄						
藤原信雄								内山明治郎					25	
遠藤照一								八木浦健雄				39	48	51
阿部稔春							36	中前秀芳	48	41				
上ヶ島利民								町田喜清						
山崎清一								房川正夫						
藤田誠								富田保男					45	
鈕持幸一								富田保男		51			51	45
遠藤与畏							33	谷村三郎					36	
宮田実							39	藤井弘美						
鷺見孝愈								北村一仁					39	
真部利秋						54		杉本匡視						
渡辺清信								田島義一						
小出清雄								佐藤康男						
相沢武直							39	松野盛						
太田直行								飯野国						
小谷盛一								横田日吉						
秋山政一						48		竹下治郎					39	
齊藤勉								柳田喜三						
広瀬清寿								青木ふさ子						
半沢和美								青木好一					45	
笠原良夫														
武田淳志							36							
後木意子														
久保栄	53													

\*30万以下は空欄。31万以上は実数。∞は無量大です。

# 胞検査成績

※30万以下は空欄。31万以上は実数。∞は無限大です。

氏名	細菌			細胞			氏名	細菌			細胞		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
中本要						33	加茂正毅						
半沢利平							佐々木政行				45	51	
国見一男							三友盛行					48	
国見一男							高島新作						33
斉藤哲雄							福島新一						
斉藤一美							古田起雄						
伊藤秀子					51	48	本田明夫						45
千代清正							中村敏夫						
村井直行						39	多野俊夫				33		
山崎隆						33	小岩正一	160				69	
後藤信夫							伏見哲弘						
斉須清志						36	中川弘					39	48
今井清男													42
山田昭洋													
井上芳行													
笠井剛							丹羽淳一				38		
赤堀岩男							丹羽賢一						
鈴木敏夫							中司哲雄						36
開陽牧場						33	上原徳保						
							工藤正儀						
							舟橋清高						
							酒井清志						
							目黒雅隆						
							工藤重美						
							児玉光彦					39	
							坂口慶和						
							白井精一						36
							川上隆						39
							長谷川寿夫						
							花尻武治				42	51	33
							中奥村協						
							奥村秀貴						
							高橋昌信						
							中塚秀夫					84	39
							藤原文雄						45
							佐藤敏昭						33
							佐藤一広						60
							清原一稔						
							湯山正志						
							門馬文夫					45	63
							石原竜雄						120
							西井武						
							土井信一					58	
							土井晴夫						
							小沼悟						
							熊谷正						33
							山本優文						
							佐々木邦夫					33	45
							寺島享治						
							赤波江						

細菌数200万以上当日出荷乳に対して当月の平均乳代をペナルティと科せられます。  
151~199万は、kg当り5円、抗菌性物質100円。



## 7月分細菌・細

氏名	細菌			細胞			氏名	細菌			細胞		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
当 幌 地 区							石 崎 多 門				75	110	
飯 島 哲 夫							林 仁 一 郎					57	
飯 島 清 市							藤 祐 蔵						
奥 田 寿 英 子							連 田 弘				33		33
奥 田 建 雄			56			33	永 谷 雄 幸			62			39
中 山 進 一							長 繩 弘						
阿 部 俊 一 勝							麻 郷 地 忠 勝			41			
鈴 木 祥 幹							小 針 和 也		46		48		39
西 垣 丈 夫							花 川 秀 一						33
小 原 夫 治					81	54	古 沢 翠				36	39	
吉 田 正 行							花 川 稔						
竹 村 満 夫							今 井 照 男		47			45	
高 橋 孝 司						54	岡 部 実 行		60		33		39
筒 井 富 男							渡 辺 善 健					36	51
筒 井 良 秋							松 隅 二 豊						
室 井 祐 二							古 瀬 久 夫					42	36
安 田 稔 男							藤 本 久 清				38		
山 田 一 吉						39	小 川 道 嘉						33
松 田 正 義							佐 藤 末 美						33
舟 田 正 義							佐 藤 末 美						33
菊 地 良 三						45	佐 藤 永 雄						48
遠 田 要 三					36		佐 藤 永 東			140			
長 正 路 清 夫							佐 藤 政 博						
大 野 富 夫							白 柴 政 幸						
吉 成 務 守						36	望 月 幸 男				120		
福 村 守 成							武 田 勇 夫						
遠 藤 弘 成							高 橋 敏 夫		84				
中 標 津 地 区							熊 倉 彦 吉						
小 林 佐 枝 子							阿 部 正 六 男						
佐 藤 三 男							佐 藤 三 男						
開 陽 地 区							土 井 上 昭 男						
山 田 輝 男							山 田 輝 男					33	42
吾 妻 紀 巳 夫							吾 妻 紀 巳 夫						33
桜 井 寿 夫						36	高 橋 勝 義				33		
桜 井 幸 一							高 橋 勝 義						
佐 々 木 繁 雄			94				中 本 ト モ				42	57	
佐 藤 信 義	41						丸 田 良 夫				36		66
三 森 章 一							鈴 木 修 男					45	54
下 山 幸 一							高 橋 一 幸 夫				39		45
長 瀨 貞 義						39	高 平 幸 夫						

質のよいミルクを  
つくるために  
これだけは  
守りましょう。

## [6つのルール]

- 手と乳房を清潔にすること
- 搾乳装置を正しく選び正しく使うこと
- ミルクの適切な冷却と貯蔵
- 搾乳が終るたびに洗浄
- ライナーとミルクチューブの定期交換
- ミルクシステムの定期点検

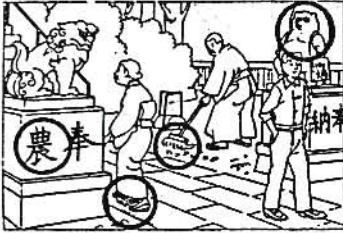
### Animal Photo

カッワイイ!!



しまりす 撮影 土井上 信一氏

### 〈6月号の間違い箇所〉



### 間違いさがし

〔六月号の当選者〕

六月号の正解は「四つ」(の図の〇印)でした。応募者数二名で正解者は一名でした。

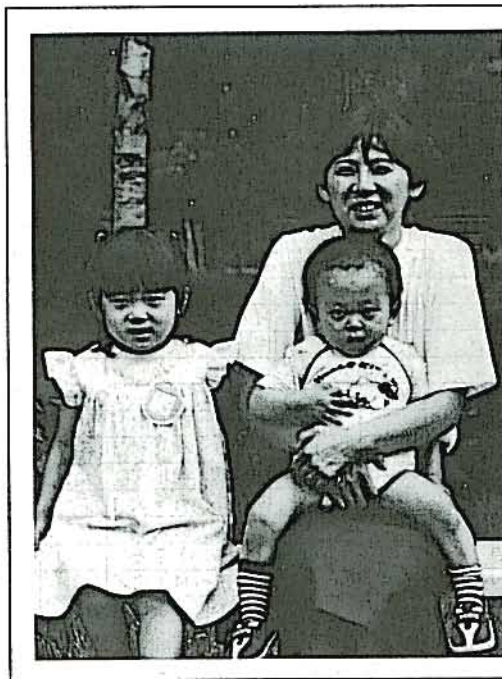
正解者 西武佐

藤原有希ちゃん

(尚、今月号の「間違いさがし」は、お休み致します。)

## 7月の組合日誌

- 7月 6日 第4回理事会
- 7日 内部審査
- 8日 固定資産監査
- 14日 管理購買委員会
- 18日 営農委員会
- 22日 会計検査院検査
- 24日 第5回理事会



九州で生まれ九州で育ったという今月号の表紙写真は俣落西共栄地区の後木民子さん(2)です。夫の和広さんとは互いに働いていた名古屋で知り合い結婚、そして三ヶ月後に現在の西共栄地区にきました。「最初は何も出来なくて...大変でした。」と話す民子さんも現在は長女の絵美ちゃん(4)、長男の直生くん(1)の二人の子供に恵まれ育児に奮闘している若妻さんです。

表紙の写真

### 編集後記

開陽台でミルクキャンペーンが始って一ヶ月が過ぎようとしています。当初一〇〇ccパックで二〇本程しか出なかった牛乳も、夏休みに入って七〇本近く出る様になってきました。多くの観光客が毎日訪れ、バイクに乗って来る若者もどんどん増えていきます。彼らは皆、うらやましい程生き生きしています。

牛乳を飲んで明るく帰っていく後姿を見ていると、無事に旅を終える事を願わずにはいられません。七月は、良い天気の日が本当に少なく、農作業の遅れでアセリを感じている方も少なくないと思います。

これから天候が回復するとどうしても無理する事になると思いますがどうぞ事故等に気をつけて下さい。